

みんなの作品

作業療法士 待井 正司

今回は「みんなの作品」・・・というよりも「みんなの作物」です。

デイケアの畑では春から夏にかけてジャガイモ作りを行いました。

春先には畑にジャガイモの葉が青々と茂っており、収穫が期待されていました。6月から7月の収穫の時期には、期待を裏切らずたくさんの大きなジャガイモが採れました！それを使って利用者さんたちが調理を行い、塩茹でやジャーマンポテトを作ってみななでおいしくいただきました。

心をこめてお世話した植物がもたらした実りをいただくのは、また格別のおいしさです。



病院周辺案内図



平成25年度診療実績

外来患者延数	27,566人
デイケア利用延数	7,062人
デイナイトケア利用延数	1,775人
ショートケア利用延数	1,469人
訪問看護利用延数	2,477人

求人情報

当院では熱意と誠意のある方を募集しています。
私たちと一緒に働いてみませんか？

【募集職種】

看護師・准看護師(正職員・パート)

外来担当医 (平成26年8月現在)

	月	火	水	木	金	土
1 診	浅沼	浅井	小栗	岡本	中里	石井
2 診	三浦 (午後のみ)	藤田	廣田	加藤	杉本	福山
3 診 (初診)	石井/加藤	中里	福山	浅沼	浅井 小栗	岡本

《初診相談ダイヤルをご利用下さい。》

精神科に通院したいんだけど、精神科ってどういところなんだろう・・・。
三方原病院ではどのような治療をしてくれるのだろう・・・。などなど・・・
治療に関する様々な相談を、当院医療相談室スタッフが応えます。
どんなことでも構いませんので、御用のある方はこちらまで

三方原病院初診相談ダイヤル

053-445-2353

診療情報受付FAXをご利用下さい。

患者様の様子や状況等FAXにてご利用いただく場合は、下記番号でお受けしています。

三方原病院診療情報受付FAX

053-447-6672

三方原病院理念

患者様一人ひとりに最適な医療・福祉サービスの提供

基本方針

- 一、誠実な医療・福祉サービスの提供
- 一、きめ細かな医療・福祉サービスの提供
- 一、説明と同意に基づく正しい医療・福祉サービスの提供
- 一、地域に根ざした保健・医療・福祉サービスの提供

発行元 医療法人 好生会 三方原病院



〒432-8063 浜松市南区小沢渡町2195-2
TEL 053-448-0622(代) FAX 053-447-6637
URL <http://www.k-mikatahara.or.jp/>
編集 三方原病院 広報委員会



陽だまり通信

三方原病院広報誌 Vol.21 2014.8



『デイケア・デイナイトケア ～地域リハビリテーションの拠点として～』

好生会 三方原病院 病院長 浅井 信成

今回は当院の精神科デイケア・デイナイトケアについての特集です。

精神科の医療において、入院を中心とした治療から、通院治療を中心とした在宅医療への転換が叫ばれて久しくなりました。デイケアは外来診療、訪問看護、心理カウンセリング、外来作業療法、医療・福祉サービスに関する相談など、地域で生活を送る患者さんたちを支える『地域医療支援部門』の一翼を担う部署です。

精神科の患者さんたちの多くは集団や人になじむことを苦手としており、自分の暮らす地域に居場所を見つけることや他の人と共に行動することが難しい傾向にあります。そのような方々を対象として、デイケアは主に『集団』で行う活動を通してリハビリテーションを行う場所です。日に30～40名くらいの利用者さんが参加され、同じ場所で共に過ごしています。デイケアでは、他の人と同じ空間・同じ時間を共有することから始まり、次第にデイケアの中での居場所＝社会の中での居場所を見つけ、さらには積極的に社会や人と関わりをもつことができるようサポートしていきます。

「デイケアは社会の縮図である」とはよく言われることです。デイケアは小さな社会ではありますが、守ってもらうルールがあり、それぞれの思いを抱えた利用者さんたちが、お互いに関わりあって集団を作り行動をしています。時にはルールを破ってしまったり、他の利用者さんとの関係がうまくいかなかったり、場合によっては口論や諍いにまでなってしまうこともあります。ただ、一方でデイケアは医療サービスとしての守られた空間でもあり、「安心して失敗できる場所」でもあると考えています。デイケアでは失敗をただの失敗として終わらせずに、スタッフと一緒にどこが悪かったのか、どう直していけばいいのか、を考えることで、失敗を意味あるものに変換していくのです。ひとつの失敗がその人を次の成長へ導いてくれる例も多々みられることです。

デイケアで得た集団体験を活かして、地域社会の中で患者さんの持つ能力を存分に発揮し、その人らしいやり方で生を楽しんでいただきたいと思います。



精神科デイケア・デイナーケア



当院のデイケアはこんな所です

看護師 井村 篤子
精神保健福祉士 佐藤 真伸

デイケア・デイナーケアは、利用者さんが医師の治療方針に基づいて、社会生活を送ることに必要な支援を専門スタッフから受けるための医療施設です。デイケアで行うプログラムや、スタッフ・他の利用者さんたちとの交流を通して「人とうまく付き合う」「メリハリのある生活を送る」「社会性を身につける」等を目標に病気の治療を行うところです。

現在、当院デイケアには155名が登録しており、登録者の男女比は2：1となっています。一日の利用定員は50名。今は一日平均で約32名の方が利用しています。

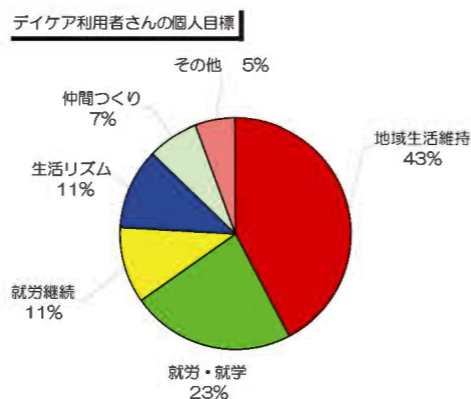
そのように多くの方が通うデイケア。利用者みなさんはどのような思いでデイケアを利用しているのでしょうか？利用者さんの目標を大きく分類分けし、その割合をみると、上位の3つに『生活の維持』『就労（就学も含む）』『現在の就労の継続』があがってきます。

『生活の維持』を目標とする方たちは、「再入院や引きこもりにならないようデイケアに通所する」「メンバー同士やスタッフと交流する中で気分転換を図る」など地域社会生活を続けるための手段として利用しています。

『就労（就学）』を目標とする方は、「継続して通所し就労に向けて生活リズムを整える」「プログラムを通して仕事のできる体力作りをする」「メンバーさんやスタッフと交流を図る中でコミュニケーションの練習をする」など、次のステップを見据え、社会性や自主性を身につけるために利用しているようです。

『現在の就労の継続』を目標とする方からは、「仕事上のストレスの発散」「悩みをスタッフに聞いてもらえる」「プログラムや他のメンバーさんとの交流を通して息抜きができる」といった声が聞かれ、素直に話をする事ができて気持ちを安定させられる場として利用している方が多いようです。

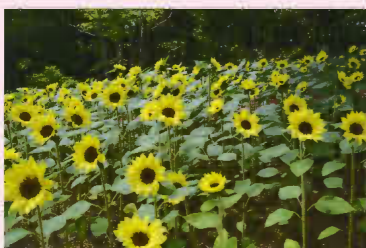
上の3つの目標以外にも様々な目標があります。むしろ「目標は一人ひとり違っている」と言ったほうが良いと思います。そのような利用者さんたちの気持ちに応えるべく、デイケアでは個別の支援計画を立て、それに沿った支援を行っています。



My Town 浜名湖花博2014 ～花と緑の祭典～

平成16年に、「浜名湖花博」が開催され、会場となった「浜名湖ガーデンパーク」はもとより、公共空間での花壇づくりや森づくりなど多様な形で広く県内各地に息づいています。日常の暮らしの中に花や緑を取り入れた豊かな生活様式の実現に向け、花と緑に関する人材も着実に育ってきています。

こうした状況の中、浜名湖花博から10年目の節目に当たる今年、これまでの活動を振り返り、将来にわたってその活動が成長していく契機となるよう「はままつフラワーパーク」と「浜名湖ガーデンパーク」を会場として、浜名湖花博2014が開催されました。



医師からデイケアに期待すること

医師 福山 貴久

地域生活を送っている患者さんにとって、デイケアとはどんな場所なのでしょう？

まず、デイケアに定期的な通所をすることで、患者さんが調子を崩し始めた際に、病院スタッフが早めに気付くことができます。そこから医師をはじめとした他の関連部署への連絡がなされ、大きく調子を崩してしまう前に早期の対応が可能になります。

また、デイケアでの治療の特徴は集団を利用したりハピリを行うことにあります。同じような病気や悩み、生きづらさを抱えた他の利用者さんと交流したり共同して活動を行う事で、患者さん対病院スタッフの関係だけでは得られない思わぬ効果を生むことがあるようです。利用前には集団の中に馴染むだろうかと心配された患者さんが利用者みなさんに受け入れられ、安心感や所属感を得ることで安定した地域生活を続けられる場合もあります。さらに、他の利用者さんが仕事や就労訓練に通っているのを見て、「自分も！」と意欲的になる方もいます。

患者さんにとってデイケアは、地域社会と病院との間にあって、医療へつながる窓口であり、一方では外に広がるより大きな社会への窓口でもあってもらいたいと考えています。



精神保健福祉士 菊地 善広

デイケアプログラムの効果

現在のデイケアには、「日常生活での困りごとを解決する」「自分の調子が悪くなるサインを知る」などを目的とした学びのプログラムや、ストレッチやバレーボールで体を動かす運動プログラムがあります。また、料理プログラムで調理をしたり、アクセサリーや便利グッズを作ったりすることもあります。

デイケアの利用者のみなさんは、一人ひとりそれぞれの目的を持って通われています。引きこもりがちだった方が、デイケアで好きになったプログラムへの参加を楽しみに、継続して通うことができたようになった例もあります。就労を目標としている方は、体力づくりのための運動プログラムに参加したり、人とのコミュニケーションを学ぶプログラムに参加したりと、仕事に必要な力を身につけるための取り組みをしています。

「頭・体を使う」「楽しむ」「癒される」など、様々なプログラムを通して、時には助け合いながら、みなさんがたくさんを経験したり学んだりしています。個人個人のペースや希望を踏まえながら、目的に合わせて参加することができます。



豆知識

貧血について

貧血は、血液の量が少なくなると勘違いしがちですが、実は血液中の酸素を運ぶ「赤血球」が少なくなって起こる病気です。貧血になると体内に十分な酸素が行き渡らなくなってしまい、めまいや立ちくらみが起こったり、疲れやすくなったりします。鉄分不足が原因で起こることが多いので、レバーや貝・海藻類、ほうれん草などを積極的に食事に取り入れましょう。ただし、貧血は体内外での出血や自己免疫の異常でも起こることがあり、その場合は早めに専門医にかかる必要があります。

看護師 高岡 大昌

